

株主通信  
**FUJIFILM NEWS**

June 2023 **Vol.108**



証券コード：4901

**NEVER  
STOP**

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2022年度の当社業績は、売上高2兆8,590億円(前年比13.2%増)、営業利益2,731億円(前年比18.9%増)、当社株主帰属当期純利益2,194億円(前年比3.9%増)となり、いずれも過去最高を更新しました。また、年間配当は、好調な業績を反映し、13期連続増配となる20円増配の1株当たり130円といたしました。

本年2023年度は、私が代表取締役社長・CEOに就任した2021年度にスタートさせた3カ年の中期経営計画「VISION2023」の最終年度です。「VISION2023」の当初業績目標を2022年度に1年前倒しで達成しましたので、目標を引き上げ、売上・利益とも過去最高の更新に全社一丸となって取り組めます。2023年度の年間配当は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝して創立90周年記念配当10円を加え、14期連続増配となる前年比20円増の1株当たり150円を予定いたします。

地政学リスクや、インフレの継続など、経済環境の先行き不透明感が続いています。また、気候変動への対応やアフターコロナにおける人々の消費行動の変化への対応など、企業として取り組むべき課題が数多くあります。このような中で、当社は事業活動にあたって、その遂行スピードをさらに高め、環境変化にもアジリティ(機敏性)をもって対応していきます。

2024年1月に迎える創立90周年、その節目を超え、



代表取締役社長・CEO 後藤 禎一

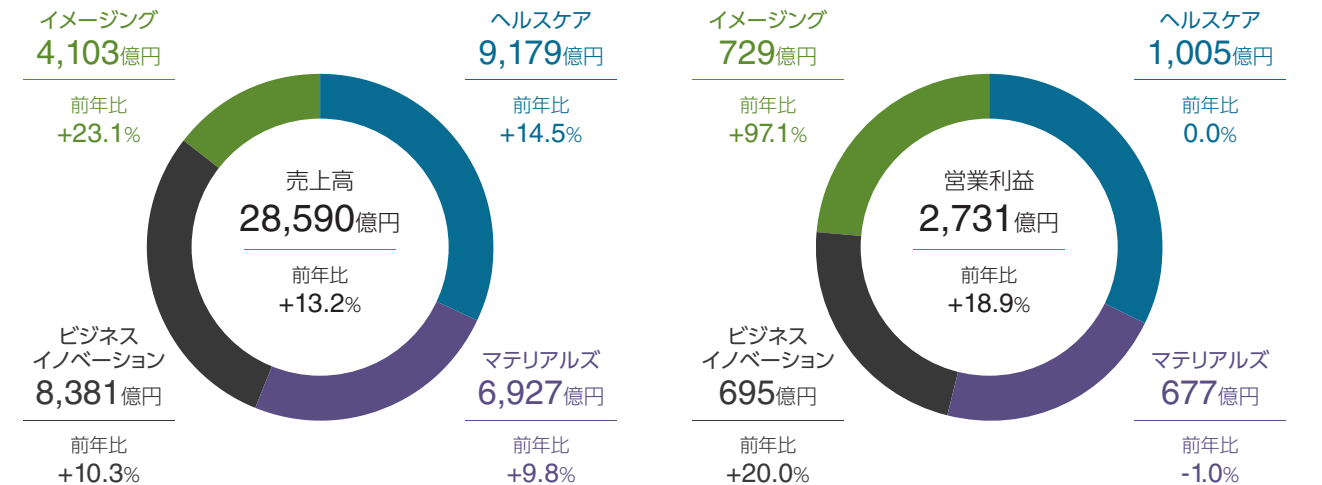
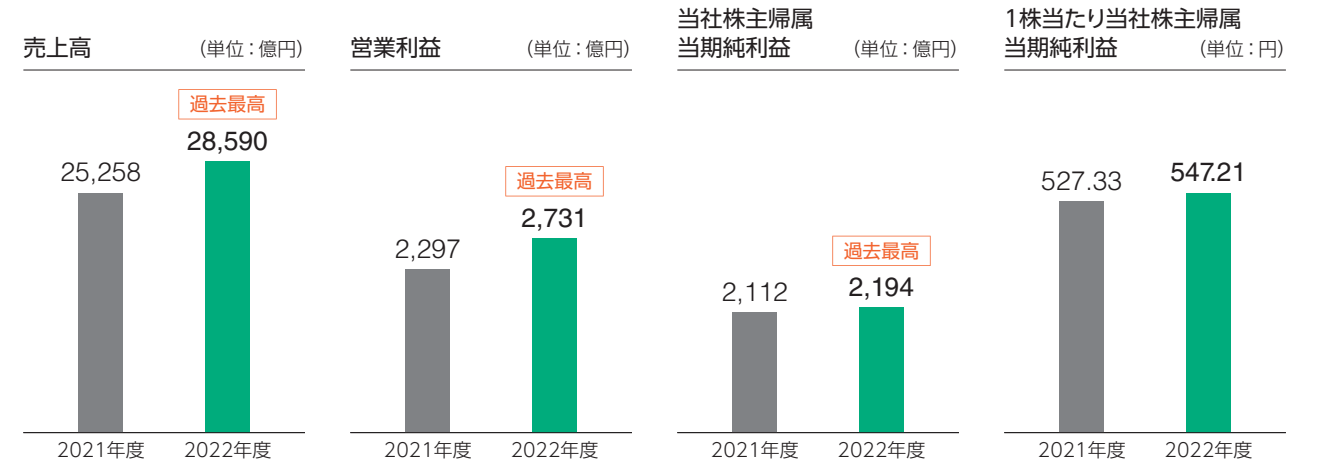
100年、そしてさらにその先も、継続して社会に優れた価値を提供することを目指し、最先端のITエンジニアとデザイナーがイノベーションを創発する拠点「FUJIFILM Creative Village」を東京・南青山に新設しました。ITエンジニアとデザイナーが最高のクリエイティビティ、パフォーマンスを発揮して、未来を拓く革新的な製品・サービスを生み出していきます。

当社は、持続的な成長に向けて積極的な投資を継続するとともに、気候変動などの環境課題にも責任を持って取り組んでいきます。企業価値の向上と社会課題解決への貢献を両立させていく当社の取り組みにどうぞご期待ください。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2022年度 決算ハイライト

2022年度の連結売上高は、メディカルシステム、バイオCDMO、電子材料、ビジネスイノベーション、イメージング等を中心に売上を伸ばし、2007年度以来の過去最高を更新しました。営業利益は二期連続、当社株主帰属当期純利益は、三期連続で最高益を更新しました。



(注)2022年度の営業利益2,731億円はセグメント別営業利益及び全社費用・セグメント間取引消去(-375億円)の合計となります。

## セグメント別概況

詳細な財務情報は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。  
アドレスはこちら > <https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>



### ヘルスケア

メディカルシステム  
バイオCDMO  
LSソリューション  
(ライフサイエンス、医薬品、  
コンシューマーヘルスケア)

レーザー光源搭載  
内視鏡システム  
[LASEREO 7000システム]



メディカルシステムは、内視鏡、医療IT、超音波診断などの分野を中心に販売が好調で増収。バイオCDMOは、バイオ医薬品の製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移したことや為替影響などにより増収。LSソリューションは、バイオ医薬品製造用培地のコロナ関連特需の一巡や前年度末の放射性医薬品事業の譲渡により減収。

### マテリアルズ

電子材料  
ディスプレイ材料  
他高機能材料  
(産業機械、ファインケミカル、記録メディア)  
グラフィックコミュニケーション  
(グラフィックコミュニケーション、  
インクジェット)



プロダクションカラープリンター  
[Revoria Press™ EC1100]

電子材料は、CMPスラリーやポリイミドなどの販売が伸長し、増収。ディスプレイ材料は、前年のモニター、タブレット及びTV向け需要増の反動やサプライチェーン全体での生産調整を受け減収。グラフィックコミュニケーションは、刷版材料分野での販売価格見直し、プロダクションプリンターの欧米向け市況の回復などで増収。

### ビジネスイノベーション

オフィスソリューション  
ビジネスソリューション

A4デジタルカラー複合機  
[Apeos C4030]



オフィスソリューションは、中国ロックダウンの影響を受けるも、複合機・プリンター及び消耗品の国内販売及び欧米向け輸出の増加などにより増収。ビジネスソリューションは、国内でのソリューション売上や自治体向け売上の増加、海外でのBPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)事業の伸長などにより増収。

### イメージング

コンシューマーイメージング  
プロフェッショナルイメージング



インスタントカメラ  
“チェキ”  
[INSTAX mini Evo]



ミラーレス  
デジタルカメラ  
[FUJIFILM X-T5]

コンシューマーイメージングは、インスタントフォトシステムや、カラー印刷紙、ドライプリント機器及び材料の販売が好調。プロフェッショナルイメージングは、最新デバイスを搭載したデジタルカメラの新製品[FUJIFILM X-H2S]、[FUJIFILM X-H2]、[FUJIFILM X-T5]の販売が好調に推移し、増収。

## 富士フイルムグループ トピックス

### ■ インスタントカメラ“チェキ”[INSTAX mini 12]新発売

“チェキ”の愛称で長く親しまれているINSTAX(インスタックス)の最新エントリーモデルを発売しました。撮ったその場でプリントできるINSTAXならではの楽しさをギュッと詰め込んだイメージを、風船のように膨らんだデザインで表現しました。機能面では「オート露光機能」、接写やセルフイーに適した「クローズアップモード」のほか、エントリーモデルで初となる接写時にファインダーからの視野と実際の撮影範囲のズレを防止する機能などを搭載しています。

また、5色の本体カラーに合わせた専用カメラケースと、INSTAXミニフィルム用アルバムも同時発売しました。



[INSTAX mini 12]

### ■ INSTAX“チェキ”スマートフォン用アプリ[INSTAX UP!]を提供開始

チェキプリントをスマートフォンでスキャンし、デジタル化して楽しめるアプリの提供を開始しました。フレーム部分に手書きしたメッセージや、絵柄入りフレームも一緒にスキャンできます。好きな背景と組み合わせた「フォトインフォ」や、複数のチェキプリントを自由にレイアウトしたチェキプリントコレクションの作成も可能で、アプリから直接SNSなどに投稿して友人や家族と簡単に共有できます。



### ■ [ASTALIFT THE SERUM BRIGHTENING]誕生

高機能美容液シリーズ[ASTALIFT THE SERUM(アスタリフト ザ セラム)]から、「アスタリフト ザ セラム ブライトニング」(医薬部外品)が誕生しました。

シミの根本原因であるメラニンの生成は、紫外線を浴びることで促進されると考えられています。当社では、紫外線以外の原因として、空気の乾燥などによる肌への刺激ダメージ<sup>\*1</sup>とシミの関係についても研究を進めてきました。

「アスタリフト ザ セラム ブライトニング」は独自の浸透型リポソーム<sup>\*2</sup>に含有した保湿成分のワレモコウエキスを配合。抗炎症<sup>\*3</sup>有効成分が紫外線や空気の乾燥などによる肌への刺激ダメージ<sup>\*1</sup>を防ぐとともに、美白有効成分がシミを元からブロックします<sup>\*4</sup>。

<sup>\*1</sup> 乾燥・あせも・しもやけ・ひび・あかぎれ・にきびなどのこと。 <sup>\*2</sup> 独自とは製法のこと。浸透とは角層まで。  
<sup>\*3</sup> 肌あれ・あれ性 <sup>\*4</sup> メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐこと。



医薬部外品  
販売名：ALE メラノエッセンスa



# 富士フィルムグループ トピックス

## ■ [FUJIFILM Creative Village]を東京・南青山に新設



[FUJIFILM Creative Village]外観

富士フィルムグループのデザイン開発とIT開発の拠点[FUJIFILM Creative Village(フジフィルム クリエイティブ ビレッジ)]を2023年5月にオープンしました。

ユーザーの潜在的なニーズを捉えてそのソリューションを形にするデザイン開発拠点[CLAY(クレイ)]と、AIやICTを活用してビジネスの付加価値を創出するIT開発拠点[ITs(イツ)]の2棟で構成されています。

本拠点は当社のデザイナーがコンセプト作りから建築デザイン、空間デザイン、什器に至るまで手掛けたものです。外観には開放感のある広い窓とシャープでソリッドなコンクリート造りを採用。3Dプリンターなどを備えた[CLAY]のプロトタイプ制作室、集中力を必要とする高度なプログラミングや世界最先端のAIアルゴリズムなどの研究開発を行う[ITs]の個人ブースなど、デザイナーとITエンジニアのクリエイティビティを刺激しパフォーマンスを最大化させるための設備・レイアウトを導入しています。

また、日が差し込む南面・東面はダブルスキンファサード(建物の外壁をガラスで覆う二重構造)を採用し空調・照明の負荷軽減を図るほか、カーボンニュートラルの実現に向けて本拠点の使用電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力で賄うなど、環境面でもさまざまな工夫を施しています。

また、日が差し込む南面・東面はダブルスキンファサード(建物の外壁をガラスで覆う二重構造)を採用し空調・照明の負荷軽減を図るほか、カーボンニュートラルの実現に向けて本拠点の使用電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力で賄うなど、環境面でもさまざまな工夫を施しています。

当社のデザインは、美しい外観のみならず、優れた機能・性能を最大限に生かすデザインが高く評価され、国内外で多くのデザイン賞を受賞しています。4月には世界三大デザイン賞のひとつに数えられる「レッドドット・デザイン賞2023」で、軽量X線透視診断装置と放送用ズームレンズが最高賞「Best of the Best賞」を獲得しています。

本拠点を通じてデザイナーとITエンジニアがクリエイティビティを発揮し、パフォーマンスの最大化を図るとともに、両部門の力を結集しイノベーションを創発することで、新たな価値の創出につながる革新的な製品・サービスを今後も生み出し続け、社会課題の解決に貢献していきます。



デザイン賞を受賞した  
軽量X線透視診断装置  
[FUJIFILM DR CALNEO CROSS]



[CLAY]デザイン制作スペース



[ITs]個人ブース

**名前の由来:**「創造」を意味する「Creative」と「人たちの集まり」を意味する「Village」という2つの言葉を組み合わせ、多様なクリエイティブ人材や組織が集まりイノベーションを発信していく拠点にしていきたいとの想いを込めています。

## ■ 創薬支援CROビジネスに本格参入 ～ライフサイエンス領域の事業成長を加速～

医薬品市場において、バイオテクノロジーや人工知能(AI)を用いた新薬の研究開発が活発化しています。製薬企業やバイオベンチャーでは、新薬開発の成功確率の向上と創薬プロセスの効率化を図るため、研究開発の初期段階から、高度な解析技術・ノウハウを有するCRO\*1と協業するケースが増えており、創薬支援CROビジネスのグローバル市場は年率約10%\*2で成長しています。

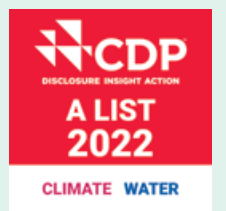
こうした中、富士フィルムは、創薬支援CROビジネスに本格参入しました。豊富な創薬の知見と必要な研究インフラを有する富士フィルム富山化学、試薬ビジネスで培った強固な国内販売網を持つ富士フィルム和光純薬といった当社グループのリソースを結集し、まずは国内において創薬支援CROビジネスを展開していきます。

現在、富士フィルムは、重点事業領域のひとつであるライフサイエンス領域において、低分子医薬品及びバイオ医薬品の開発・製造受託(CDMO)サービスを提供しています。今後は創薬支援CROサービスの本格展開を図ることで、創薬研究から生産プロセス開発、治験薬製造、商業生産までカバーするトータルサポート体制を確立し、医薬品産業のさらなる発展に貢献していきます。

## ■ CDPより最高評価を獲得 ～「気候変動」「水セキュリティ」の2分野で「Aリスト企業」に認定～

当社は、国際的な非営利団体CDP\*3が実施する国際的に影響力のある企業調査において、「気候変動」「水セキュリティ」の2分野で最高評価の「Aリスト企業」に認定されました。

富士フィルムグループの祖業である写真フィルムは、製造時に清浄な水と空気が不可欠であることから、環境保全への取り組みは、創業以来、当社のDNAとして受け継がれてきました。これからも世界の環境課題の解決に向けて、地域社会や行政機関などと連携し、脱炭素化の推進や水資源保全、廃棄物削減などに積極的に取り組んでいきます。



\*1 Contract Research Organizationの略。薬効評価や安全性試験などのサービスを提供し、製薬企業やバイオベンチャー、アカデミアなどが行う医薬品の研究開発を支援する。

\*2 2023年3月16日時点。当社調べ。

\*3 英国を拠点とする国際的な非営利団体。世界の時価総額上位の企業を対象に「気候変動」「水セキュリティ」「森林」に関する取り組みなどを調査し、運用資産総額130兆米ドルを有する680以上の機関投資家と協働し、各社に対して情報開示を促している。なお、「森林」は木材、パーム油、畜牛、大豆などの農産物関連事業を展開する企業が対象で、当社は調査対象外。

# 投資家インフォメーション

## 第127回定時株主総会の決議結果について

2023年6月29日開催の定時株主総会において報告及び決議された内容につきましては、当社ウェブサイト(<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/stock-and-shareholder/shareholders-meeting.html>)に掲載していますので、ご参照ください。



## 株主優待制度一部変更のお知らせ

当社は、株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社グループの事業をより一層ご理解いただくことを目的として、2012年に株主優待制度を導入しました。

この度、株主様への公平な利益還元の内り方という観点から慎重に検討を重ねました結果、今後は業績に応じ配当による直接的な利益還元を集約することがより適切であるとの判断に至り、2023年5月10日に適時開示しました「株主優待制度の一部変更に関するお知らせ」のとおり、株主優待制度の一部変更を決定いたしました。2023年3月末日を基準日とする株主優待プレゼント(2023年7月実施分)及び、2023年9月末日を基準日とする株主優待プレゼント(2023年12月実施分)の発送をもって、株主優待プレゼントを終了いたします。

単元株以上保有の株主様を対象とした「当社グループヘルスケア商品の優待割引販売」につきましては、従来からの変更はございません。

今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

株主優待プレゼントは、2023年度(2023年7月・12月実施分)の発送をもって終了いたします。  
2024年度以降の株主優待プレゼントの発送はございません。

**FUJIFILM**

富士フイルムホールディングス株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号  
<https://holdings.fujifilm.com>

